

日衛連

JAPAN HYGIENE PRODUCTS
INDUSTRY ASSOCIATION

発行 / 社団法人 日本衛生材料工業連合会

No.47

2004.04

紙おむつNews

特集

Feature Articles

紙おむつの意識調査

育児・介護の必需品と言われる紙おむつも、家庭から排出されるごみの資源化・分別収集が進み、可燃ごみの量が減少していく中で、紙おむつがごみ全体に占める割合は相対的に増加する傾向にあります。

一般消費者は使用済み紙おむつのごみが増加にすることを、育児・介護の必需品だからと便利さを優先すると考えているのでしょうか。

日衛連では、現在紙おむつを使用している人、介護をしている人、全く紙おむつに関係のない人など、さまざまな立場の方に、紙おむつの有用性とごみの増加に対する考え方、紙おむつのリサイクルなどについてアンケート調査を実施しました。

調査概要

《調査対象》 紙おむつの使用経験の有無、育児・介護別など下記に示す対象に実施。

大人用紙おむつ使用者の調査対象は、各社のモニターを対象に実施。

対象と回答数 乳幼児用紙おむつの使用者(使用経験者を含む)66名

大人用紙おむつの使用者または介護人47名

紙おむつ未経験者52名

《調査期間》 2003年12月10日～2004年1月31日

《調査方法》 郵送による自己記入式

● 調査結果の概要

1. 紙おむつの使用実態

乳幼児用、大人用紙おむつ使用者の使用実態と、使用後の処理方法を聞きました。

「紙おむつだけを使用」は乳幼児用が66%、大人用では92%でした。これに「主に紙おむつを使用」と回答した人を加えると、乳幼児用が86%、大人用は98%に達し、ほとんどの人が紙おむつを使用していることが分かりました。

紙おむつを使い始めたきっかけは、乳幼児用のトップが「出産前から紙おむつと考えていた」

の36%、「出産時に病院で使っていたから」が2位で27%でした。大人用のトップは「紙おむつしか考えていなかった」で38%。次いで「入院時に病院で使っていたから」の28%でした。

使用後の紙おむつの処理マナーで、86%の乳幼児用ユーザーはきちんと処理できていました。しかし、大人用ユーザーできちんとできていた人は36%、及第点が19%でした。その他の人は便をつけたまま出すなど改善が必要でした。

2. 紙おむつ未経験者は「紙おむつ」をどう見ているか

紙おむつが今ほど普及していない時期に子供を育て、介護の経験もないという紙おむつ未経験者に「紙おむつ」をどう考えているかを聞いてみました。

乳幼児用紙おむつを「使用してもよい」は77%で、その理由のトップは「便利なものを使うのは悪いとは思わない」の41%、2位は「働いているお母さんにはありがたい存在」の21%でした。

大人用では「使用してもよい」が96%と高く、その理由のトップは「省力化できるものは積極的に取り入れる」でした。

自分たちがおむつが必要になった場合「何を使いますか」の問いには、「紙おむつ」と回答した人が71%に達し、「介護は紙おむつ」が、紙おむつ未経験者にも定着していることが分かりました。

3. 紙おむつの有用性とごみの増加

育児や介護に「紙おむつ」はどんな存在なのでしょう。また、気になるのはどんなところなのでしょう。

乳幼児用ユーザーにとっての紙おむつとは「洗濯の手間が要らず便利」がトップで68%、次いで「長時間快適で育児には不可欠」が16%でした。

大人用では「紙おむつ以外は考えたことはない」がトップで43%、次いで「長時間つけられ、介護には不可欠」の40%でした。

紙おむつを使っていて気になることのトップは、乳幼児（38%）、大人用（53%）共に「ごみの量が増えること」でした。

ごみに出す場合の気持ちは、乳幼児用ユーザーの52%、大人用ユーザーの60%が「ごみが増えるが、便利さを優先」と回答しており、2位は両者と「もきちんと処理しているので気にならない」で、乳幼児用ユーザー23%、大人用ユーザー30%でした。

4. 紙おむつのリサイクル

使用後の紙おむつは、現在そのほとんどが家庭ごみ（一般廃棄物）として焼却処理を行っていますが、一部にはリサイクルをという声もあります。そこで、紙おむつ使用者と未経験者に「紙おむつのリサイクル」をどう考えるかについて聞いてみました。

「リサイクル」支持派は乳幼児用30%、大人用28%でした。「リサイクル」に反対する人は乳

幼児用、大人用共に70%。その理由は「衛生的な観点から焼却処理が望ましい」（乳幼児57%、大人用17%）、「し尿がついているので再利用したくない」（乳幼児13%、大人用53%）でした。

紙おむつ未経験者の場合は「リサイクル」支持派が57%と、反対派の43%を上回っていました。

調査結果

● 紙おむつの使用実態

乳幼児用は86%が、大人用は98%が「紙おむつ」

紙おむつの使用実態を、乳幼児用紙おむつについてはお母さんに、大人用紙おむつは、介護をしている人または使用者本人に聞きました。

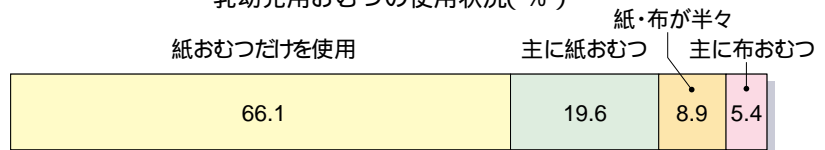
乳幼児に「紙おむつだけを使用」しているお母さんは66%で、「主に紙おむつ」20%を加えると、86%に達しています。

紙おむつと布おむつの併用者は9%で、その理由として「保育園では布おむつ、家庭では紙おむつ」という人もいました。

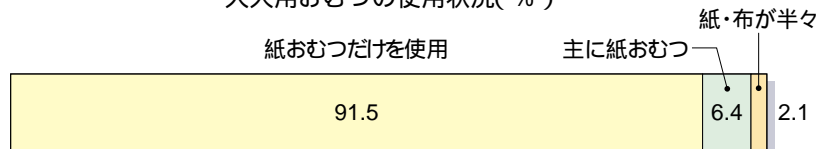
介護などで使う大人用の場合は、「紙おむつだけを使用」が92%、「主に紙おむつ」が6%で、実に98%が

紙おむつユーザーといえます。また、「布おむつ、紙おむつ半々」と回答した人の理由として「デイケアセンターでは布製トレーニングパンツ、家庭では紙おむつ」と回答した人もいました。

乳幼児用おむつの使用状況(%)



大人用おむつの使用状況(%)



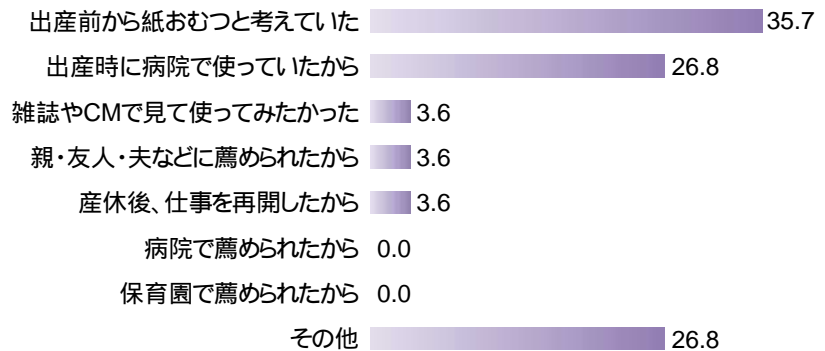
紙おむつを使い始めた「きっかけ」

では、何がきっかけで紙おむつを使い始めたのでしょうか。

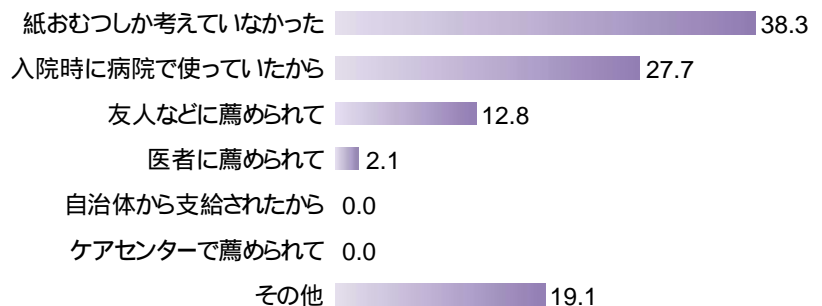
乳幼児用で一番多かったのは「出産前から紙おむつ」と考えていた人で36%、次いで「出産時に病院で使っていたから」の27%でした。その他の意見としては「紙おむつは漏れない」、「赤ちゃんがアトピーになったので紙おむつに代えた」、「価格が安くなったから」などがあげられています。

大人用紙おむつの場合は、「紙おむつしか考えていなかった」が最も多く38%、「入院時に病院で使っていたから」が二番目で28%でした。13%の人は「友人などに薦められて」使い始めています。その他では、「薬局で相談したら進められた」、「広告で見た」、「就寝時に漏らすようになったから」などでした。

乳幼児用紙おむつを使い始めたきっかけ(%)



大人用おむつを使い始めたきっかけ(%)



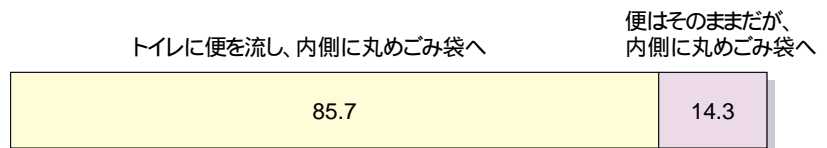
使用済み紙おむつの処理マナー

紙おむつを使った後、どのようにしてごみに出しているか、処理マナーを聞きました。

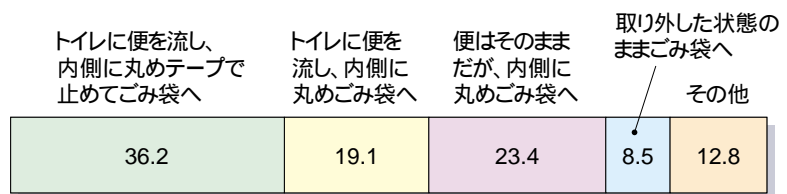
乳幼児用紙おむつを使っているお母さんの86%は、「トイレに便を流して、内側に丸めてごみ袋に入れる」というマナーをきちんと守っていますが、14%のお母さんは「便をつけたまま」ごみに出していることが分かりました。

大人用できちんとマナーを守っているのは36%で、及第点の19%を加えても全体の約半数、56%に過ぎませんでした。残りは「便をつけたまま」と回答しており、9%の人は「取り外したままの状態でごみ袋へ」と回答しています。

乳幼児用紙おむつ使用者のごみの出し方(%)



大人用紙おむつ使用者のごみの出し方(%)



「処理マナー表示」より目立つよう改善へ

自治体のごみ収集現場では、収集車に積むときにパッカーによってごみ袋が押しつぶされ、破裂して収集作業者に汚物のはねかかるケースもまれにあります。ごみに出した後のことまでも考え、適切な処理マナーを守ることが求められています。

日衛連では従来から、紙おむつのパッケージ

に「使用後の処理マナー」を絵表示で示すなどの啓発を行ってきています。しかし、今回の調査結果を踏まえ、特に大人用紙おむつのパッケージに記載する処理マナー表示を、使用者により分かりやすく、目立つような表示への改善が必要と考えています。

● 紙おむつ未経験者は「紙おむつ」をどう見ている？

紙おむつが現在のように普及する前に子育てを終え、介護経験もないことから、今まで紙おむつをまったく経験していない人たちは「紙おむつ」をどのように見ているのでしょうか。

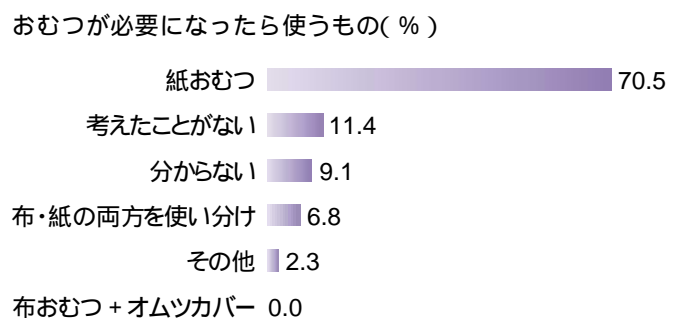
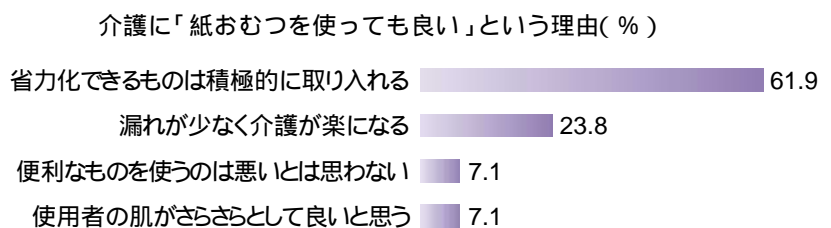
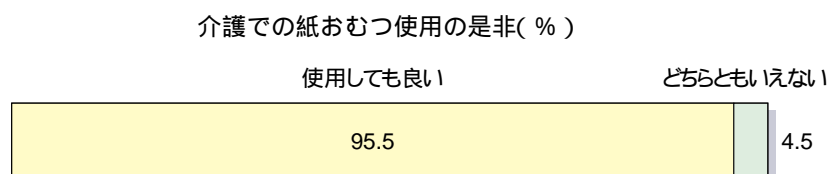
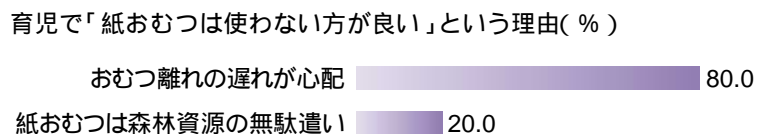
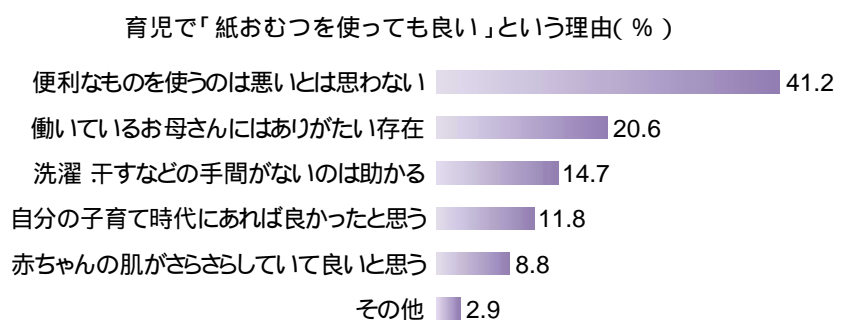
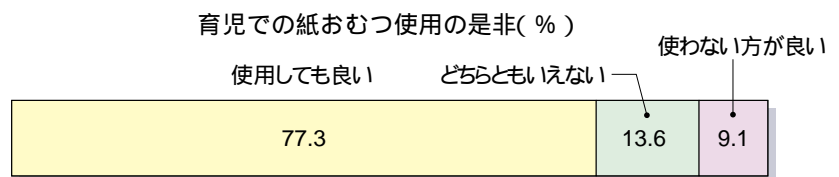
「紙おむつを使用しても良い」、乳幼児用は77%、大人用は96%

紙おむつ未経験者は、乳幼児用紙おむつの使用について「使用しても良い」と考えている人は77%で、「どちらとも言えない」は14%でした。その理由としては「便利なものを使うのは悪いとは思わない」が41%でトップ、「働いているお母さんにはありがたい存在」(21%)、「洗濯・干すなどの手間がないのは助かる」(15%)が続きます。「使わない方がよい」と考えている人は9%と少数派、その理由は「おむつ離れの遅れが心配」、「紙おむつは森林資源の無駄遣い」でした。

介護で紙おむつを使うことに対しては96%の人が「使用してもよい」と回答し、育児の場合の77%を大きく上回っています。また、「使わない方がよいという」回答はゼロでした。

「使ってもよい」という理由は、62%の人が「省力化できるものは積極的に取り入れる」と考えており、「漏れがなく介護が楽になる」は24%でした。全体的に、紙おむつ未経験者も紙おむつを育児、介護に「必要なもの」として認めていることが分かりました。

今後、自分が経験するであろう介護への紙おむつ使用にも、「おむつが必要になったら紙おむつを使う」が71%に達し、“介護は紙おむつ”が定着していることが分かりました。



● 紙おむつの有用性

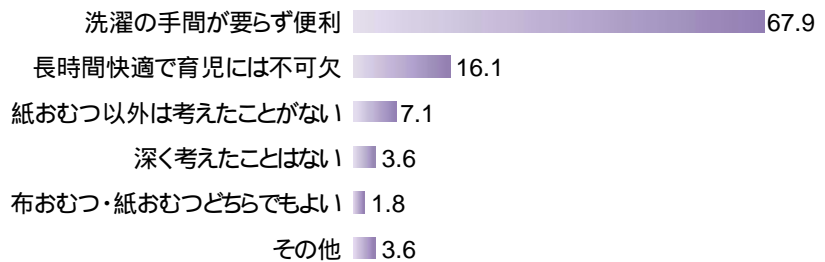
使用者にとっての紙おむつとは

幼児用ユーザーにとっての紙おむつは「洗濯の手間が要らず便利なもの」と考えている人が68%でトップでした。また、「長時間快適で育児には不可欠」と考えている人は16%で、両者を合わせると84%に達します。

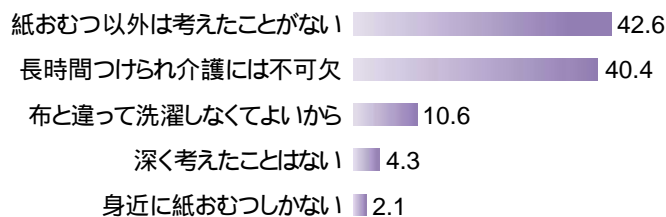
大人用ユーザーにとって紙おむつとは「紙おむつ以外は考えたことがない(43%)存在であり、「長時間つけられ介護には不可欠(40%)なもの」と評価しています。

紙おむつは、育児・介護の必需品となっていることがうかがえます。

乳幼児用紙おむつ使用者(%)



大人用紙おむつ使用者(%)



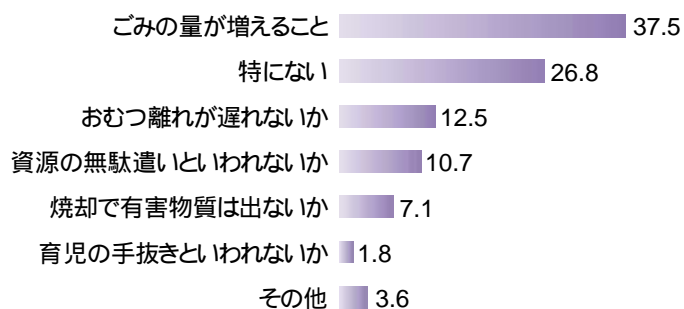
● 紙おむつとごみの増加

紙おむつを使っていて気になること

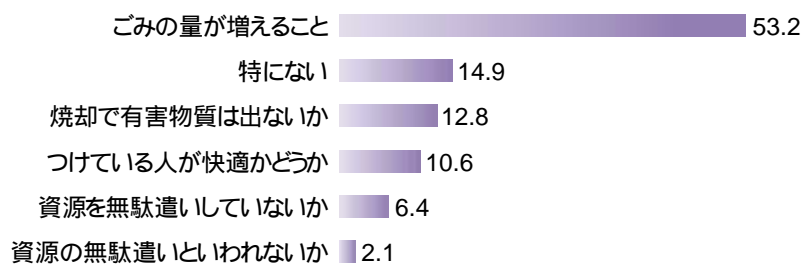
乳幼児用紙おむつ使用者、大人用紙おむつ使用者共に「ごみの量が増えること」をトップにあげており、乳幼児用では38%、大人用では53%に達しています。2位も「特にない」で共通しています。

乳幼児用では「おむつ離れが遅れないか」が3位で13%、大人用では「つけている人が快適かどうか」が4位で11%。被使用に対する配慮が伺えます。

乳幼児用紙おむつ使用者(%)



大人用紙おむつ使用者(%)



ごみ増加より便利さを優先

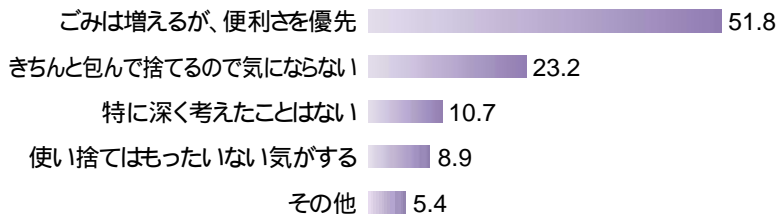
紙おむつが育児・介護には「不可欠」であるとしている反面で、「ごみが増えること」は気になっているユーザー。では、どちらを優先させるのでしょうか。

育児中のお母さんの52%、大人用ユーザーの60%が「便利さを優先」するとしています。また「きちんと包んで捨てるので気にならない」は乳幼児用で23%、大人用では30%でした。

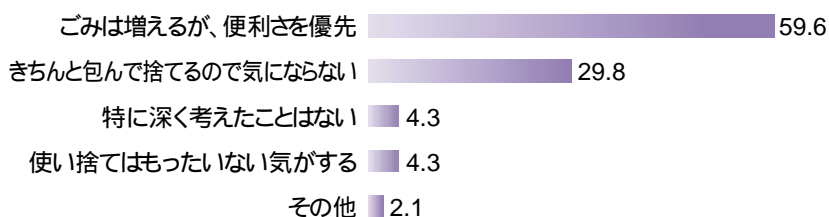
「使い捨てはもったいない気がする」とした人は乳幼児用9%、大人用で4%と少数派です。

「深く考えたことはない」を加え、紙おむつ使用者の大多数（幼児用86%、大人用94%）は、紙おむつは必需品であり、ごみが増えることよりも便利さを優先したい、と考えていました。

乳幼児用紙おむつ使用者(%)



大人用紙おむつ使用者(%)



● 紙おむつのリサイクルをどう考える

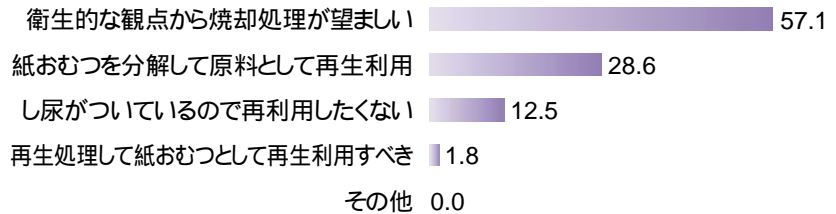
乳幼児用・大人用共に70%が紙おむつのリサイクルに否定的

循環型社会の構築が着々と進められていく中で、紙おむつのリサイクルについてもさまざまな意見が出ています。

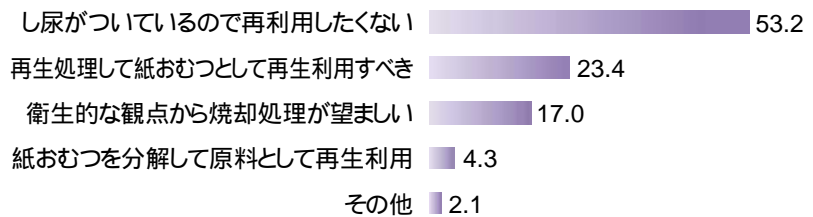
しかし、実際に毎日紙おむつを使っているユーザーは、乳幼児用の57%、大人用の17%が「衛生的な観点から焼却処理が望ましい」と考えています。また、「し尿がついているので再利用したくない」という声は、乳幼児用で13%、大人用では53%に達しています。両者を合わせると紙おむつユーザーの70%はリサイクルに否定的な考えであることが分かりました。

「紙おむつを分解して原料として再生利用」(乳幼児用ユーザー29%、大人用ユーザー4.3%)や「再生処理して紙おむつとして再生利用すべき」(乳幼児用ユーザー2%、大人用ユーザー23%)と考えている人は少数派でした。

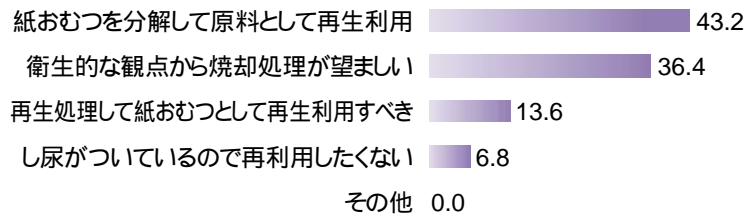
乳幼児用紙おむつ使用者(%)



大人用紙おむつ使用者(%)



紙おむつ未経験者(%)



紙おむつ未経験者はリサイクル派が57%

紙おむつ使用の未経験者の場合は「衛生的な観点から焼却処理が望ましい」(36%)と、「し尿がついているので再利用したくない」(7%)を合わせると再利用に否定的な人は43%で、「紙おむつ

を分解して原料として再生利用」(43%)や「再生処理して紙おむつとして再生利用すべき」(14%)と考えている人が過半数を超えていました。

紙おむつ・ライナー生産数量（日衛連調べ）

単位：トン、千枚

					平成13年		平成14年		平成15年	
					年 計	前年比%	年 計	前年比%	年 計	前年比%
紙 お む つ	大 人 用	(パンツタイプ)	テープ型	千枚	234,150	93	256,592	110	320,097	125
				トン	28,314	92	31,513	111	40,342	128
			パンツ型	千枚	270,670	111	296,815	110	358,717	121
				トン	21,921	108	23,783	108	30,403	128
			合計	千枚	504,820	102	553,407	110	678,815	123
		合計	トン	50,235	98	55,296	110	70,745	128	
		フラット型 パッド型 その他	千枚	364,913	88	387,469	106	393,263	101	
			トン	25,552	90	26,685	104	27,205	102	
			千枚	1,358,063	96	1,494,952	110	1,924,016	129	
			トン	53,104	96	60,457	114	79,346	131	
	合計		千枚	2,227,796	96	2,435,828	109	2,996,094	123	
	合計	トン	128,891	96	142,438	111	177,295	124		
	乳 幼 児 用	(パンツタイプ)	テープ型	千枚	3,289,980	93	3,266,903	99	3,609,528	110
				トン	118,555	93	113,647	96	122,110	107
			パンツ型	千枚	2,156,438	113	2,611,110	121	3,111,607	119
				トン	95,926	123	112,005	117	139,996	125
			合計	千枚	5,446,418	100	5,878,013	108	6,721,136	114
		合計	トン	214,481	104	225,652	105	262,106	116	
	合計	千枚	7,674,214	99	8,313,841	108	9,717,229	117		
	合計	トン	343,372	101	368,090	107	439,401	119		
ライナー	千枚	101,055	84	84,113	83	80,522	96			
	トン	160	84	133	83	127	96			

*枚数については、平成2年4月から発表 *大人用3分類別表示は、平成5年1月から発表 *大人用4分類表示、乳幼児用2分類表示は、平成10年1月から発表

寝たきりの人のおむつ代は、確定申告すると医療費控除が受けられます

昭和63年1月からおむつ（寝たきり用）は、医療費控除の対象になっています。控除を受けるためには、医師の発行する「おむつ使用証明書」 使用者の名前とおむつ代であると明記した「領収書」が必要です。詳しくは病院・医院、または税務署、市区町村役場にお問い合わせください。

紙おむつ・生理用品・衛生材料に関するご質問ご意見お問い合わせは下記へ

社団法人 日本衛生材料工業連合会

〒171-0033 東京都豊島区高田3-36-12
電話 03-3971-0452 FAX. 03-3983-3403